

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
英語科教育法	講義	2	泉谷 律子

【ディプロマポリシーとの関連】。

＜認知的領域(知識・理解・思考・判断)＞。

4. 自ら設定した課題について、保育学・教育学・心理学・社会学などの研究方法を用いて考察することができる。

＜技能・活動的領域(技能)＞

6. 子ども学ゼミや実習指導によって習得した技能を保育・教育の現場に用いることができる。

【授業のテーマ及び到達目標】

・2020 年度から全面実施される新学習指導要領にそって、どのような内容をどのような指導法や教材を用いて進めるかを理解できる。学んだことに沿って4回の模擬授業を実施できる。

・また英語で授業することに自信を持ち、様々な英語活動ができる。学んだ指導法について1000字程度のレポートを書き、クラスメイトと教員に説明することができる。

【授業の概要】

小学校英語教育の進め方について、知っておきたい基本的な知識、基本的な指導技術について学ぶ。学んだことを、指導者の立場に立って他の学生を児童に見立ててマイクロティーチング形式で実際に試し、児童の立場に立って英語活動をすることで、身につける。

【全体の授業計画・内容】

1. ガイダンス 外国語教育の目的と目標(テキスト1章)、自己紹介1、指導事例

事前学修課題:シラバスを熟読し、小学校英語に関連した記事を読む【1時間】

事後学習課題:テキストを購入、構成を理解する。p15の学習課題をA4一枚にまとめる。【1時間】

2. 第二言語習得(テキスト2章)、自己紹介2、クラスルームイングリッシュ1

事前学修課題:テキスト2章の当該箇所を読み、内容を理解する。資料①を読み、音読しておく。【2時間】

事後学習課題:配布資料に学んだ事項をまとめる。p26の学習課題をA4一枚にまとめる。【2時間】

3. コミュニケーション能力と国際理解(テキスト2章)、歌・チャンツの活用体験

事前学修課題:テキスト2章の当該箇所を読み、内容を理解する。歌・チャンツを調べてくる。【2時間】

事後学習課題:配布資料に学んだ事項をまとめる。p26.1の学習課題をA4一枚にまとめる。【2時間】

4. 指導者の役割、資質と能力(テキスト3章)、発音と文字、フォニックスの指導

事前学修課題:テキスト3章の当該箇所を読み、内容を理解する。フォニックスについて調べてくる。【2時間】

事後学習課題:配布資料に学んだ事項をまとめる。p39の学習課題をA4一枚にまとめる。【2時間】

5. 教材の構成と内容(テキスト4章)、絵本の活用

事前学修課題:テキスト4章の当該箇所を読み、内容を理解する。英語の絵本を一冊選び、持参する。【2時間】

事後学習課題:配布資料に学んだ事項をまとめる。p58,59の学習課題をA4一枚にまとめる。【2時間】

6. 言語材料と4技能の指導(テキスト6章)、クラスルームイングリッシュ2

事前学修課題:テキスト6章の当該箇所を読み、内容を理解する。TPR手法について調べてくる。【2時間】

事後学習課題:配布資料に学んだ事項をまとめる。p83の学習課題をA4一枚にまとめる。【2時間】

7. 教材研究(テキスト7、8章)、クイズ、ゲームを使った指導

事前学修課題:テキスト2章の当該箇所を読み、内容を理解する。資料①を読み、音読しておく。【2時間】

事後学習課題:配布資料に学んだ事項をまとめる。p26の学習課題をA4一枚にまとめる。【2時間】

8. 指導方法と指導技術(テキスト9章)、コミュニケーション活動の指導

9. いろいろな教材、教具の活用法(テキスト10章)、様々なメディアを使った指導
10. 評価のあり方、進め方(テキスト11章)、指導案作成
11. 模擬授業(動作動詞の学習を含む指導) 事前学修課題: 模擬授業(授業計画、作成物)の準備と練習【4時間】 事後学習課題: 模擬授業全体の振り返りと自己評価【1時間】
12. 模擬授業(数字や方向の学習を含む授業) 事前学修課題: 模擬授業(授業計画、作成物)の準備と練習【4時間】 事後学習課題: 模擬授業全体の振り返りと自己評価【1時間】
13. 模擬授業(季節と季節の行事の学習を含む授業) 事前学修課題: 模擬授業(授業計画、作成物)の準備と練習【4時間】 事後学習課題: 模擬授業全体の振り返りと自己評価【1時間】
14. 模擬授業(文字の指導とフォニックスの学習を含む指導) 事前学修課題: 模擬授業(授業計画、作成物)の準備と練習【4時間】 事後学習課題: 模擬授業全体の振り返りと自己評価【1時間】
15. 試験およびまとめ 事前学修課題:【4時間】 事後学習課題:【0.5時間】
<b>【学習のあり方】</b> 予習: テキストの指定された箇所は必ず読んでから授業にのぞむこと。毎回小テストを行う。 課題について各自で考え、創意工夫を凝らしてまとめる。 授業: 個人やグループでの発表は十分に準備して臨み、質問や意見、相互評価を通して積極的に参加する。 復習: 学んだことは忘れないうちにノートやハンドアウトを振り返ること。
<b>【成績評価】</b> 小テスト30%、模擬授業40%、試験30%
<b>【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】</b> 小テストやレポートにコメントを記入し返却する。
<b>【テキスト】</b> 『新編 小学校英語教育法入門』(2017)樋口忠彦・加賀田哲也・泉恵美子・衣笠知子編著・研究社
<b>【参考文献】</b> 文部科学省 新学習指導要領対応 小学校外国語教材 Let's Try1, 2, We can 1, 2
<b>【実務経験の有無】</b>